

広島県

広島県地域医療構想

～身近な地域で質の高い医療・介護サービスを受け、
住み慣れた地域で暮らし続けることができる広島県の実現～

広島県では、限りある医療・介護資源を効率的に活用するため、病床の機能の分化及び連携による質が高く切れ目のない医療提供体制の構築と地域包括ケアシステムの確立を一体的に推進します。

また、病気・けがの治療を一つの病院だけで行う、これまでの「病院完結型」の医療から、地域全体で治し、支える「地域完結型」の医療へ転換することで、身近な地域で医療・介護サービスを受けることができる体制を整備するとともに、地域包括ケアシステムを支える医療人材、福祉・介護人材の確保・育成を行い、住み慣れた地域で暮らし続けることができる広島県の実現を目指します。

1 都道府県及び構想区域の基礎情報

広島県



構想区域	人口 (人) ※ 1	市町 村数	報告対象 病院数 (施設)	公立 病院	公的 医療 機関 等	その他	報告対 象有床 診療所 (施設)	医師数 (人) ※ 2	人口10 万対 ※ 2
広島	1,365,134	8	86	8	6	72	92	3,844	281.3
広島西	142,771	2	12	0	2	10	8	387	266.4
呉	252,891	2	23	1	4	18	19	767	297.2
広島中央	227,325	3	17	3	3	11	15	432	195.8
尾三	251,157	3	22	3	3	16	17	550	213.7
福山・府中	514,097	3	41	5	2	34	39	1,029	196.7
備北	90,615	2	11	2	1	8	11	215	233.2
計	2,843,990	23	212	22	21	169	201	7,224	254.6

※ 1 総務省「平成27年国勢調査」

※ 2 厚生労働省「平成28年（2016年）医師・歯科医師・薬剤師調査」

構想区域	平成28年度病床機能報告における病床数（床）							2025年病床数の必要量（床）				
	高度 急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟等	非稼働 病棟	合計	高度 急性期	急性期	回復期	慢性期	合計
広島	3,290	4,883	1,590	3,870	322	319	13,955	1,585	4,242	4,506	2,730	13,063
広島西	260	618	180	1,033	9	9	2,100	156	410	515	478	1,559
呉	999	935	379	1,014	124	124	3,451	287	858	894	751	2,790
広島中央	14	1,026	503	1,001	44	44	2,588	122	672	678	669	2,141
尾三	353	1,740	420	1,200	87	87	3,800	242	905	991	726	2,864
福山・府中	447	2,835	906	1,068	106	106	5,362	524	1,691	1,840	976	5,031
備北	38	620	158	516	0	0	1,332	73	340	323	430	1,166
計	5,401	12,657	4,136	9,702	692	689	32,588	2,989	9,118	9,747	6,760	28,614

2 広島県の特徴

広島県では、「地域医療構想策定ガイドライン（厚生労働省）」に沿って、二次保健医療圏ごとの地域の連携組織（地域保健対策協議会：県，市町，地区医師会等関係機関により構成）をベースに地域医療構想の策定段階から地域医療構想調整会議を設置し，議論を行っています。

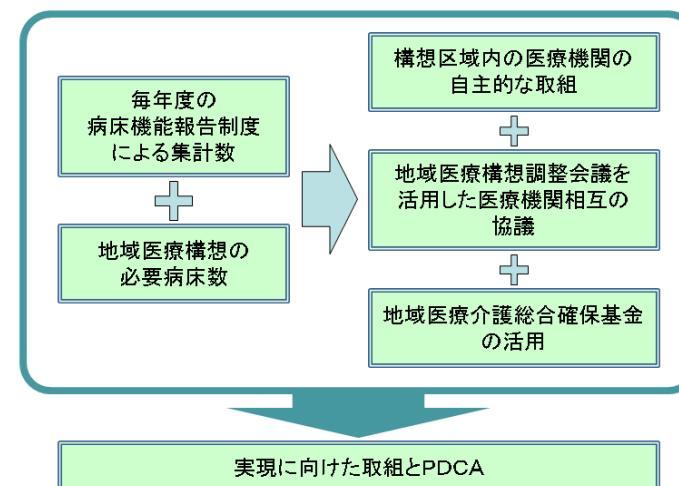
【これまでの取組】

- ・平成28年3月の構想策定までに，各圏域（7圏域）で5回程度（計32回）開催
- ・構想策定後の平成28年度は，各圏域1～3回程度開催し，病床機能報告結果の共有に加え，次期保健医療計画の二次保健医療圏などを協議
- ・平成29年度からは，地域医療構想調整会議に「病院部会」を設置し，病床の機能の分化及び連携に関する事項，回復期病床を充実させるための円滑な病床機能の転換に関する事項等について協議

地域医療構想の実現に向けた検討体制

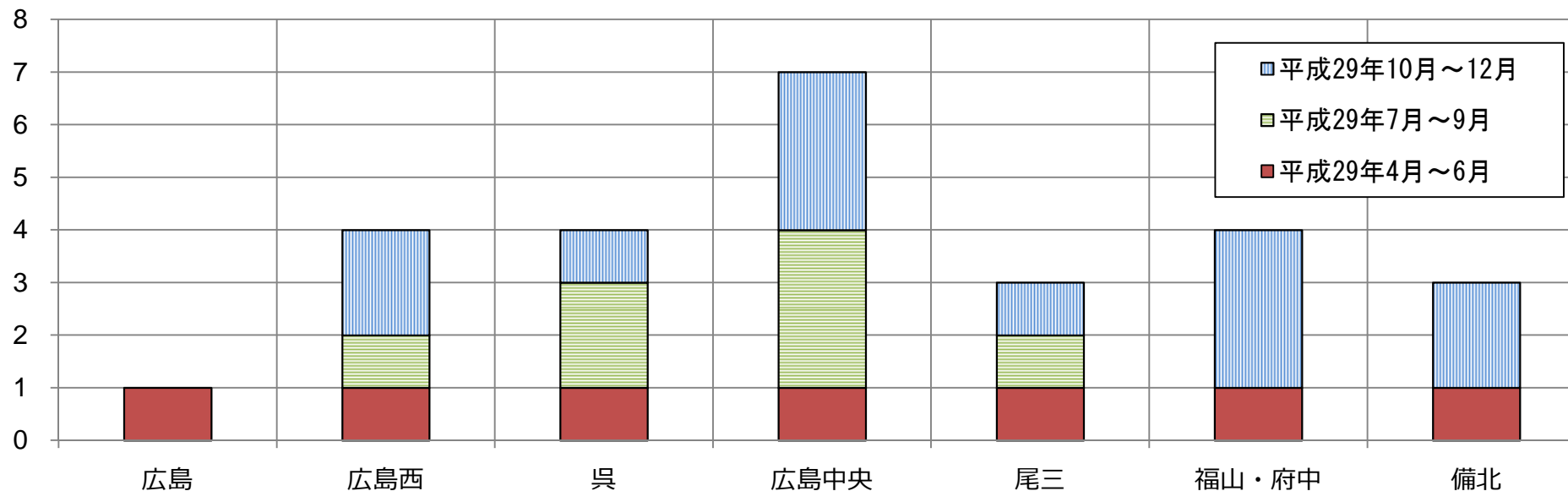


地域医療構想の実現に向けた医療機関の取組(イメージ)



3 地域医療構想調整会議における議論の進捗状況

■ 構想区域ごとの調整会議の開催状況（開催延べ回数）（平成29年12月末時点）



■ 意見交換会等の取組例

【平成29年4月】

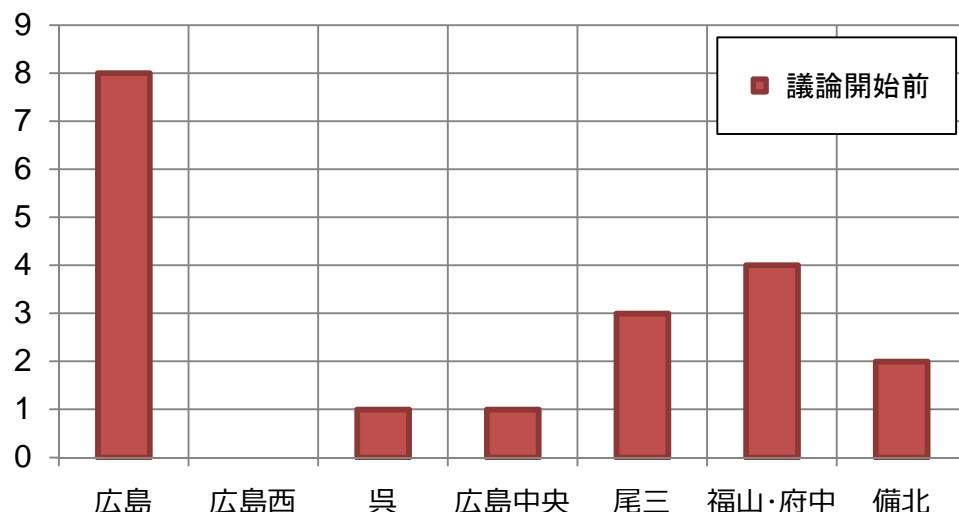
各圏域に設置している地域医療構想調整会議における円滑な運営を支援するため、県医師会病院部会において、地域医療構想調整会議における病院部会の設置について協議

【平成29年11月】

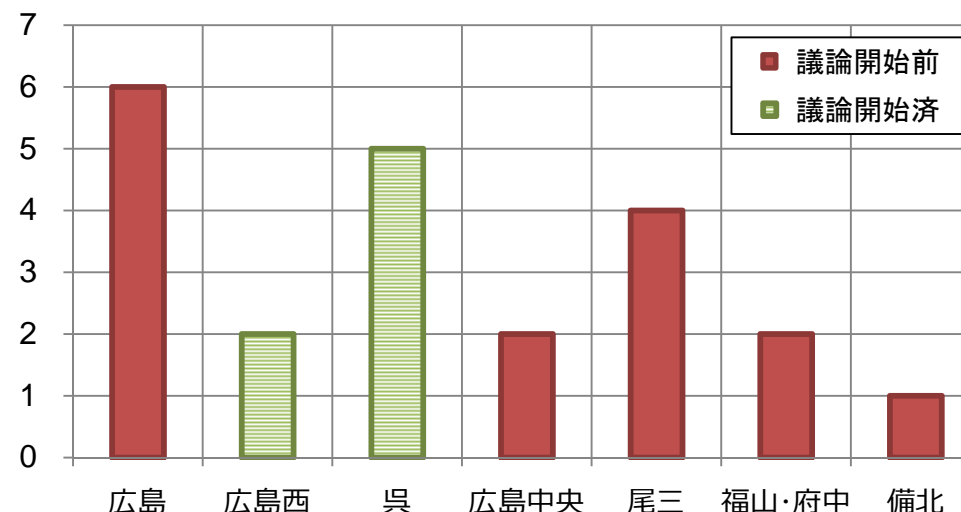
県医師会病院部会において、地域医療構想調整会議の開催状況、公的医療機関等2025プラン等をもとにした調整会議における協議の概要及び医療機関の対応状況について、県から説明

4 新公立病院改革プラン及び公的医療機関等2025プランの進捗状況

■ 構想区域ごとの**新公立病院改革プラン**について、調整会議での議論を開始した病院数／策定対象病院数



■ 構想区域ごとの**公的医療機関等2025プラン**について、調整会議での議論を開始した病院数／策定対象病院数



■ プランの活用について

【協議の進め方】

- ・ 地域医療構想調整会議（病院部会）等において、新公立病院改革プラン及び公的医療機関等2025プランを提示し、構想区域における将来の医療提供体制を構築していくための方向性を共有

【活用方法】

- ・ 公立・公的医療機関等が地域において今後担うべき役割等の方向性を、率先して明らかにし、地域で共有することにより、地域医療構想の達成に向けた具体的な議論を促進

【スケジュール】

〔平成29年度〕新公立病院改革プラン及び公的医療機関等2025プランについての議論を開始

〔平成30年度〕平成29年度病床機能報告等を踏まえた医療機能の役割分担等について協議

5 地域医療構想の達成に向けた独自の工夫

地域医療構想調整会議に「病院部会」を設置

地域医療構想調整会議における円滑な運営を支援するため、県医師会及び県病院協会との意見交換に基づき、各調整会議に「病院部会」を設置

【構成】

圏域内に所在する病院（及び有床診療所）の管理者等

【協議事項】

- (1) 病床の機能の分化及び連携の推進に関する事項
- (2) 回復期機能を充実させるための円滑な病床機能の転換に関する事項（地域医療介護総合確保基金を活用した、病床機能の転換に係る事前協議を含む。）
- (3) 慢性期機能の病床から新類型（介護保険法による介護医療院）等への転換に関する事項
- (4) 病床の機能区分別の病院名に関する事項

6 医療機関の再編・統合の参考事例

地域医療連携推進法人の認定

全国初となる地域医療連携推進法人として、平成29（2017）年4月2日に三次市及び庄原市を医療連携推進区域とする備北メディカルネットワークを認定

【参加法人】

三次市：市立三次中央病院

庄原市：庄原市立西城市民病院

一般社団法人三次地区医師会：三次地区医療センター

【理念】

医療機関相互の業務の連携を推進し、地域において良質かつ適切な医療を効率的に提供できる地域完結型医療の実現を目指す。

【病院等相互間の機能の分担及び業務の連携に関する事項及びその目標】

- （1）医療従事者を確保・育成する仕組みづくり
- （2）地域包括ケアの推進
- （3）共同購買の仕組みづくり
- （4）共同研修の仕組みづくり

7 都道府県としての来年度への抱負

地域医療構想調整会議の運営について

各構想区域に設置した地域医療構想調整会議において、地域の関係者が地域の実情に応じて将来必要となる医療・介護提供体制の実現に向けて継続して協議・調整を行っていきます。

医療機関の機能分化・連携の支援について

高度急性期から慢性期までの病床機能の分化及び連携を進めるため、関係する医療機関間において協議・調整を行うとともに、不足する病床機能（回復期）を充足させるための病床転換を推進します。

介護施設・在宅医療等の整備について

地域包括ケアシステムの構築を推進し、平成37（2025）年に向けた在宅医療や訪問看護体制の強化、介護保険施設の整備をはじめとした幅広い選択肢の中から、患者にとって最も適切な療養環境を提供できる体制の確保を目指します。